報告課題　地理総合　３部　持続可能な地域づくりと私たち　第６回

◎教科書『新地理総合』P.183～227 を読んで、次の問題に取り組みましょう。

１.「日本の自然環境」についての問題です。

問１　「日本の地形」について、次の各問に答えなさい。

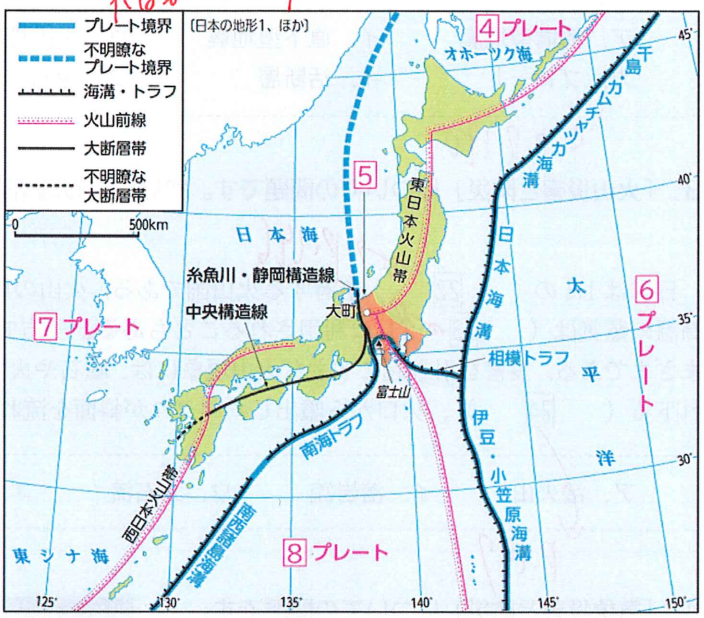
解答番号 1～8　知識・技能

〔１〕日本の地形について、空欄に入る適語を語群から選び、記号で答えなさい。
日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれた（　1　）である。その地形は４枚のプレートの動きと深く関わっている。プレートが沈み込む圧力によって（　2　）が発生しやすく、さらにプレートが沈み込む所では地下にマグマができやすいため、（　3　）も多い。

ア．火山　　イ．台風　　ウ．地震
エ．弧状列島　　オ．沖積平野

〔２〕右の地図で示したプレートや地溝帯の名称を答えなさい。

（　4　）プレート
（　5　）プレート
（　6　）プレート
（　7　）プレート
（　8　）プレート



問２「日本の気候」について、次の各問に答えなさい。

解答番号 9～11　知識・技能　　解答番号 12～15　思考・判断・表現

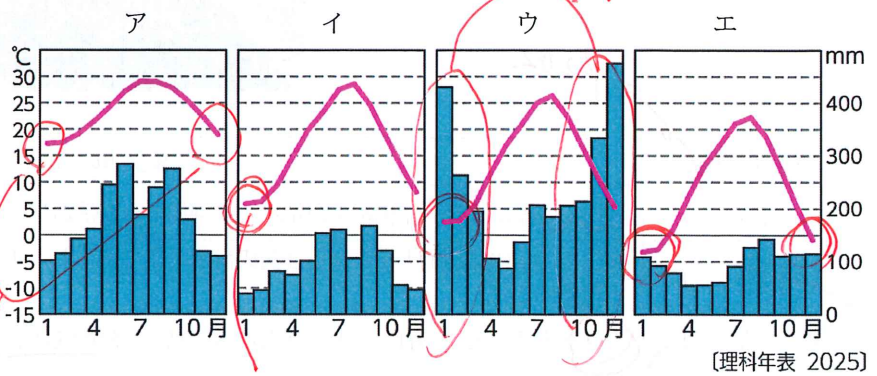
〔１〕季節ごとに風向きが変わり、日本の気候に季節の変化を与える要因ともなっている風を何というか、漢字で答えなさい。（　9　）

〔２〕東北地方の太平洋側で夏に吹く、北東からの冷たく湿った風を何というか、答えなさい。（　10　）

〔３〕都市気候で、郊外と比べて都心部の気温が島状に高くなる現象を何というか、答えなさい。（　11　）

〔４〕下のア～エの雨温図は、札幌、上越（高田）、高松、那覇のものである。それぞれの都市の雨温図がどれか、記号で答えなさい。

札幌　（　12　）
上越（高田）　（　13　）
高松　（　14　）
那覇　（　15　）



〔理科年表 2025〕

2．「地震・津波と防災」についての問題です。次の表は、地震の種類とその特徴をまとめたものです。空欄に入る適語を語群から選び、記号で答えなさい。

解答番号 16～21　知識・技能

地震の種類	地震の特徴	主な地震災害
（　16　）	プレート境界にたまったひずみが解放されることで発生する地震。（　18　）が発生して湾岸地域に甚大な被害をもたらすことがある。	2011 年の（　20　）
（　17　）	内陸部の（　19　）がずれ動いて発生する地震。規模が小さくても、震源に近い都市に大きな被害をもたらすことがある。	1995 年の（　21　）

ア．海溝型地震　イ．直下型地震　ウ．火山性地震　エ．火山　オ．津波
カ．プレート　キ．活断層　ク．東日本大震災　ケ．阪神・淡路大震災

3．「火山災害と防災」についての問題です。空欄に入る適語を語群から選び、記号で答えなさい。

解答番号 22～25　知識・技能

日本は 111 の（　22　）を有する火山国である。火山の周辺には多くの温泉が湧き出し、火山がつくる熱水や高温の蒸気は（　23　）に利用されることもある。一方で、火山活動は多様で、それに伴って生じる災害もさまざまである。災害を引き起こす主な火山現象には、噴石や火山灰、火山ガスの噴出、高温の火山噴出物が斜面を流れ下る（　24　）、火口から噴出したマグマが斜面を流れ下る（　25　）などがある。

ア．活火山　イ．溶岩流　ウ．土石流　エ．火砕流　オ．地熱発電

4．「気象災害と防災」についての問題です。

問1　下の表は、気象災害の種類とその特徴をまとめたものです。空欄 26～29 にあてはまる気象災害の状況を、右の図中のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

解答番号 26～29　知識・技能



気象災害の種類	気象災害の特徴
（　26　）	河川の氾濫により、市街地や農地などに河川の水が流れ込む現象のこと。
（　27　）	堤防内の排水処理能力を超える多量の雨水によりあふれた水が、市街地の建物や道路などを浸水させる現象のこと。
（　28　）	土砂が大雨などで崩れ、水と一体となって高速に斜面を流れ下る現象のこと。
（　29　）	雨水の地下への浸透や大きな地震などによって、斜面の土砂が大きな塊となって動きやすくなり、ゆっくりと下方に移動する現象のこと。

問2　土砂災害、洪水、津波のそれぞれの被害がどのような場所で生じやすいか、それぞれ適切な説明文を次のア～ウから選び、記号で答えなさい。

解答番号 30～32　思考・判断・表現

土砂災害（　30　）　洪水（　31　）　津波（　32　）

ア．河川から水が氾濫することで発生する。そのため、河川周辺の低地で被害が生じやすい。

イ．海溝型地震によって発生する。海から押し寄せるため、海岸沿いや河川の河口近くの低地で被害が生じやすい。

ウ．大雨や地震などにより、山や崖が崩れたり、水と混じり合った土や石が流れ出たりすることで発生する。そのため、山間地や山地の斜面、崖となっている場所で被害が生じやすい。

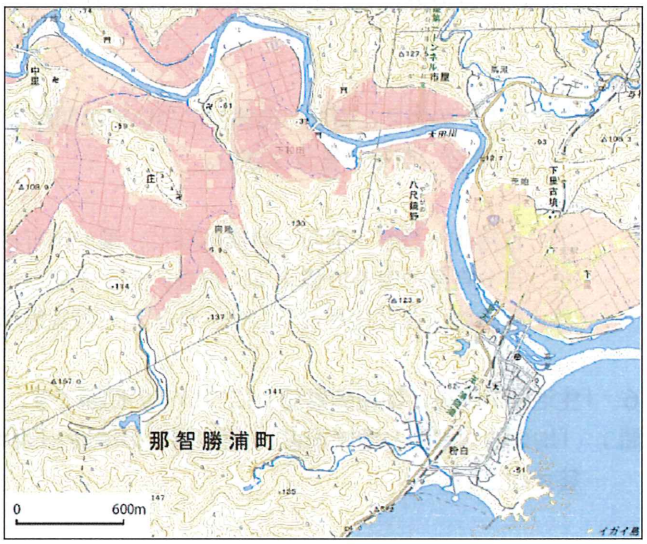
P202

問3　下の地図Aは、和歌山県那智勝浦町付近の地形図で、地図B～Dはこの地形図の上に土砂災害、洪水、津波の被害が起きやすい場所を色で重ねたハザードマップです。地図B～Dの内容を読み取った次の〔1〕～〔3〕の文について、正しいか、誤っているか、記号で答えなさい。

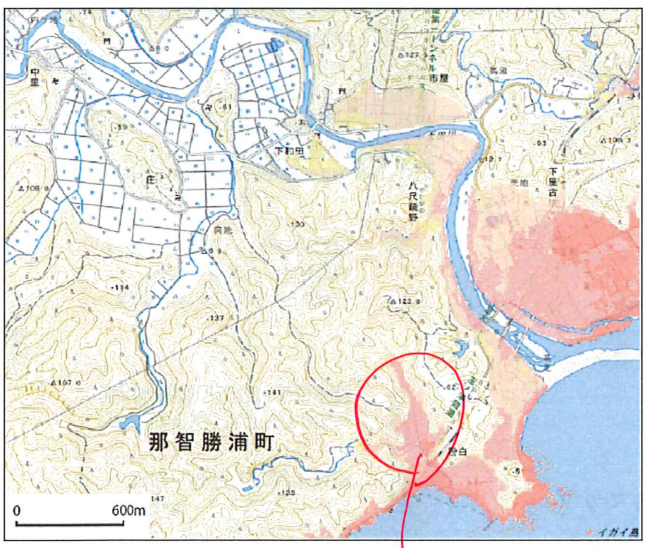
解答番号 33～35　思考・判断・表現



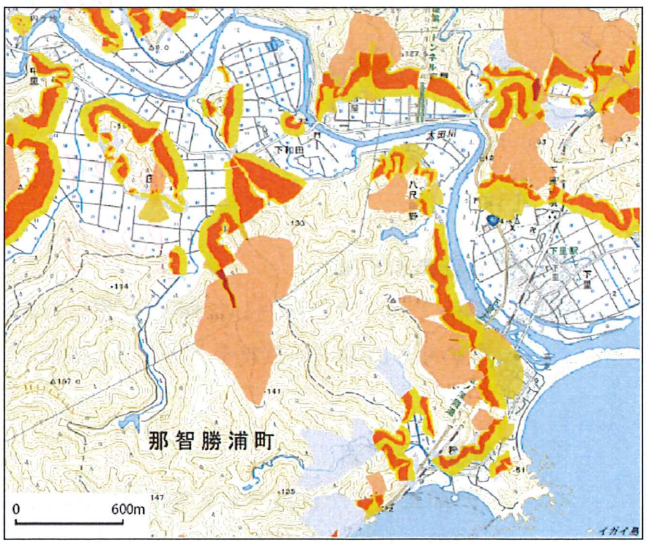
A



B



C



D

〔出典：重ねるハザードマップ〕

?

〔1〕地図Bからは、被害が生じやすい場所は、河川周辺の低地に集中していることが読み取れる。
（ 33 ）

〔2〕地図Cからは、被害が生じやすい場所は、海岸沿いのみであることが読み取れる。 （ 34 ）

〔3〕地図Dからは、被害が生じやすい場所は、山間地や山地の斜面、崖に多いことが読み取れる。
（ 35 ）

ア．正しい　　イ．誤っている

問4　地図B～Dは土砂災害、洪水、津波のいずれかの災害についてのハザードマップです。それぞれのハザードマップがどの災害を示しているか、次のア～ウから選び、記号で答えなさい。

解答番号 36～38　思考・判断・表現

B（ 36 ）　C（ 37 ）　D（ 38 ）

ア．土砂災害　　イ．洪水　　ウ．津波

5．「自然災害への備えと復旧・復興」についての問題です。災害発生時の公助の説明として適切な説明文を次のア～ウから選び、記号で答えなさい。

解答番号 39　思考・判断・表現

（ 39 ）

ア．自治体・警察・消防・自衛隊など、国や市町村などが行う防災活動のこと。
イ．自分自身や家族で備えて、自身の安全を守ること。
ウ．近隣の人など住民どうしや、外部からの災害ボランティアと協力して助け合うこと。

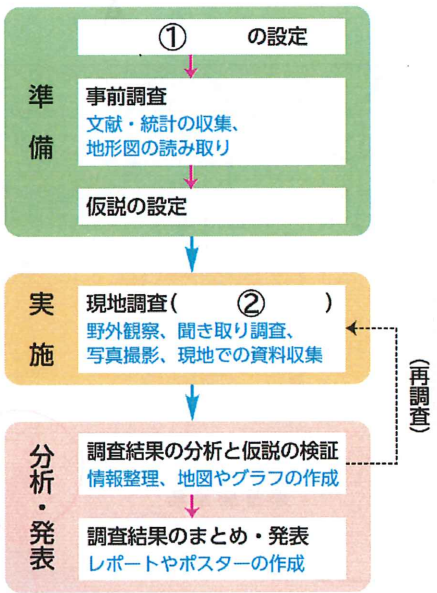
6．「生活圏の調査と地域の展望」についての問題です。

問1　「地理的な課題と地域調査」「現地調査の準備」「現地調査の実施」「調査の分析と発表」について、次の各問に答えなさい。

解答番号 40～41　思考・判断・表現

〔1〕図の②にあたる、現地調査のことをカタカナで何というか答えなさい。
（ 40 ）

〔2〕下のア～ウは、地域調査をした生徒のノートから抜粋したものである。図の①の段階にあてはまる抜粋を、ア～ウのうちから一つ選び、記号で答えなさい。
（ 41 ）



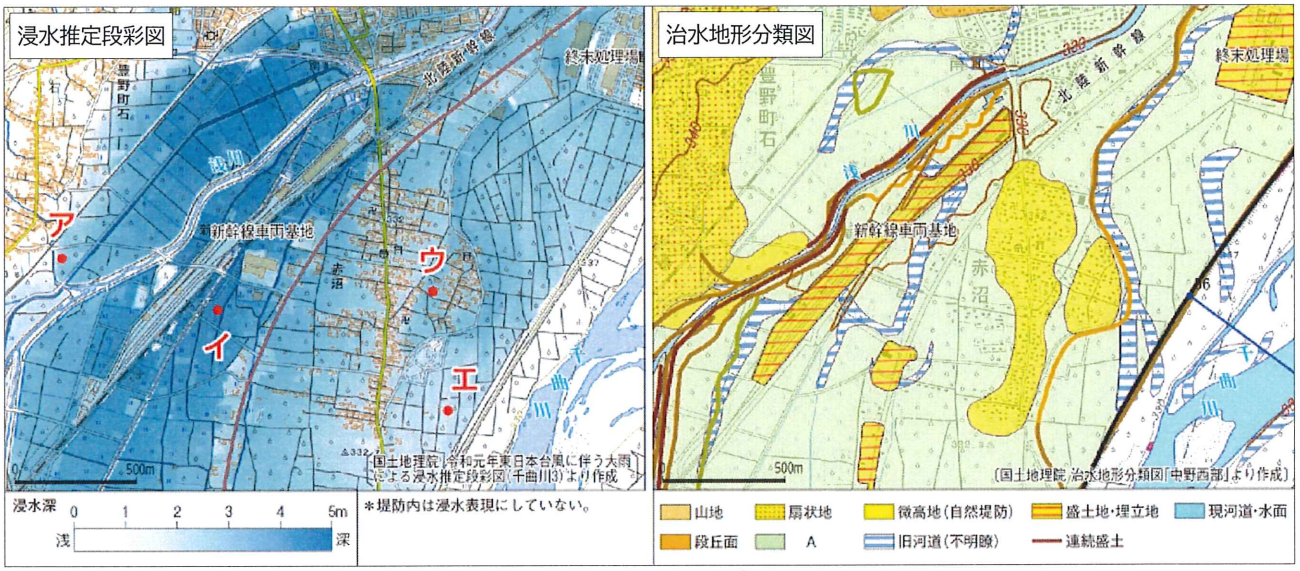
ア．●検証のまとめ
門前エリアでの暮らしに魅力を感じた移住者などが、空き家のもとの用途と立地を生かして活用している。

イ．●集めた資料
・門前エリアで作成された空き家活用物件のマップ
・門前エリアで開催されている行事のパンフレット
・空き家に関して自治体が行った調査の報告書

ウ．●地域調査の「問い」
・なぜ全国的に空き家が増加しているのだろうか。
・空き家の問題は、地域によってどのような違いがあるのだろうか。
・なぜ門前エリアでは、最近、空き家の活用が増えているのだろうか。

問2　問1を踏まえ、「持続可能な地域づくり」の地理的な課題「防災・減災」を事例に、考察してみましょう。長野市内では、2019年に台風の大雨によって千曲川の堤防が決壊する大きな災害が発生しました。下の左の地図はそのときの浸水状況を表した浸水推定段彩図であり、右は水害や土砂災害などの対策を目的とした治水地形分類図です。次の各問に答えなさい。

解答番号 42～45　　思考・判断・表現



〔1〕左の地図のア～エの地点で浸水が最も深い点はどれか、記号で答えなさい。　（　42　）

〔2〕左の地図で浸水がみられない北西部の地域は、どのような小地形の場所だろうか。右の地図であてはまる小地形を探し、凡例の語句を使って答えなさい。　（　43　）

〔3〕この地域は、歴史的に洪水が繰り返されてきた地形です。このことを示す小地形が、右の地図の凡例Aにあたります。凡例Aにあてはまる適語を下の語群から一つ選び、記号で答えなさい。　（　44　）

ア．三角州（デルタ）　イ．砂州　ウ．氾濫平野（氾濫原）　エ．海岸平野　オ．三日月湖

〔4〕二つの地図から読み取れる、この地域の防災に関する事象として適当でないものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。　（　45　）

ア．新幹線車両基地がある場所は洪水時の浸水が深くなると想定され、盛土によって対策がとられてきた。
イ．地図中央にある赤沼地区の住宅地は、洪水の被害を受けにくい自然堤防上に集中している。
ウ．洪水時の浸水が深いと推定されている浅川沿いは、連続盛土で水害対策がとられている。
エ．千曲川と浅川は、昔から現在と同じ流路を流れ、人々は流路に沿って盛土を築いてきた。